

(Reference 4)

(19)



JAPANESE PATENT OFFICE

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **01283192 A**(43) Date of publication of application: **14.11.89**

(51) Int. Cl.

B42D 15/02
G03H 1/18(21) Application number: **63113069**(22) Date of filing: **10.05.88**(71) Applicant: **DAINIPPON PRINTING CO LTD**(72) Inventor: **SAKAMAKI TERUO**(54) **COMPOSITE IDENTIFICATION CARD**

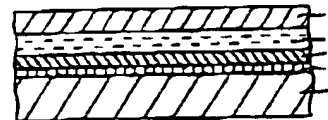
(57) Abstract:

PURPOSE: To make forgery or alteration difficult or impossible, by laminating a transparent hologram sheet having inherent data recorded thereon to the surface of a base sheet.

CONSTITUTION: A transparent hologram sheet 4 is laminated to the surface of a base sheet 1 having general common data recorded thereon. In the identification card thus constituted, inherent data such as a character, a mark or a photograph of face is formed to the rear of the hologram sheet 4. That is, the identification items inherent to an owner, for example, the photograph of face, nationality, the date of birth, the distinction of sex, the address, the name of a belonging organization, the type of blood or the like are recorded on the image layer 3 provided to the rear of the hologram sheet 4. The recording of these inherent data is pref. performed by thermal transfer. In this thermal transfer, a thermal transfer sheet having a dye layer containing a dye transferred by heat, so called, a sublimable dye is utilized to be imagewise heated from the rear thereof by a thermal head to form a desired image. Since a hologram can not be duplicated by a

small-scaled individual or organization, secret forgery or alteration is almost impossible.

COPYRIGHT: (C)1989,JPO&Japio

**BEST AVAILABLE COPY**

特開平1-283192(4)

合せて形成することもある。

以上本発明を好ましい実施形態に基づいて説明したが、本発明はこの様な特定の实施形態に限定されない。

(結 語)

以上の如き本発明によれば、一般共通情報を記録した基材シート表面に、顔写真等の固有情報を記録した透明型ホログラムシートを貼着することによって偽造及び改ざんが困難となる。

すなわち、パスポート等の写真記入欄の表面にホログラムシートを貼り合わせることにより、これらのホログラムは小規模の個人や団体では複製不能であるので、偽造及び改ざんすることは不可能に近い。

又、ホログラムの背面には好ましくは昇華型熱転写方法により顔写真や個人のサインが記録され、これらの顔写真等を改ざんするためにホログラムシートを剥離しても顔写真等を交換することは不可能であるので偽造及び改ざんは不可能である。

は隠蔽されず、正面面的一般共通情報及び固有情報が鮮明に見られる。これを約45度の角度で観察すると鮮明なホログラム立体像が観察された。

次にホログラムシートを強制的に剥離したところ、固有情報の記録された受像層が部分的に破壊され、一部は基材シートの方に残り、残りはホログラムシートの方に残り、顔写真等の改ざんは事実上不可能な状態であった。

4. 図面の簡単な説明

第1図は本発明の証明カードの要部の一側の断面を図解的に示す図であり、第2図は透明ホログラムシートの一側の断面を図解的に示す図である。

- | | |
|-------------|-----------|
| 1: 基材シート | 2: 接着層 |
| 3: 受像層 | 4: ホログラム層 |
| 5: ホログラム貼着層 | |
| 6: ホログラム剥離層 | |
| 7: 保護層 | 8: 凹凸形状 |

(実施例)

次に実施例を挙げて本発明を更に具体的に説明する。

実施例1

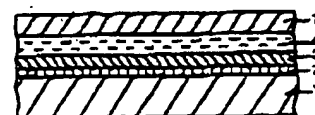
大日本印刷株式会社製の透明型レインボーホログラムシート(A3版サイズ、厚み60 μ m)の全面にポリエステル樹脂(Vylon200、直作協製)塗布を乾燥時厚さ10 μ mになる様に塗布及び乾燥して受像層を形成した。

この受像層にイエロー、シアン及びマゼンタの昇華型熱転写シートを用いる熱転写プリントを用いて6人分の顔写真、サイン、生年月日、住所、所属団体名及び国名等を記録した。更に図解的に熱転写材料を約5 μ mの厚みに形成した後6分割した。

次に一般共通情報が印刷されているパスポート用紙を用意し、その写真欄に上記のホログラムシートを熱により貼り合せて本発明の6人分の組合証明カードを作成した。

上記証明カードは正面から見るとホログラム像

第1図



第2図

